

平成 23 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

総務部

質 問 要 旨		答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール
1	平成 23 年度決算見込みはどのようになるのか。 (一般質問：土井議員)	歳入では、普通交付税・臨財債は予算額より増収、市税や地方譲与税、各種交付金は予算額より減収の見込み。 歳出では、予算の執行残がある程度見込める。 今後、詳細な決算見込みについて把握し、実質収支黒字の確保に努める。	12 月 12 日決算見込み作成依頼 同 月 22 日入力締切 同 月 28 日までに集計予定
2	公契約条例に関する考え方を伺う。 (一般質問：倉本議員)	今後、他の自治体の動きなど情報収集する。本市の実情に応じた対応の仕方や条例の必要性について、庁内組織の入札契約制度検討委員会などで検討する。	平成 24 年 1 月 入札制度検討委員会では他市条例についての勉強会を開催。 4 月以降、情報収集と市の対応について、同委員会で検討。
3	美唄ダムの決壊時など、危機管理体制をどのようにしていくのか。 (一般質問：土井議員)	ダムの管理者である空知総合振興局に、さらに確認をすたうえで、必要な対応に努める。	12 月中に空知総合振興局に確認 平成 24 年 1 月以降 同局と必要な対応を協議する。
4	自主防災組織の組織率をどのように高めていくのか。 (一般質問：土井議員)	今後、さらに設立促進に向け、取り組む。	今年度内に新規設立 2 団体を目指し、町内会にアプローチする。 新年度は、自治組織代表者会議、まちづくり地区懇談会、地域応援チームなどを通じて設立を呼びかける。
5	T P P 協定への対応は、今後、どのように進めていくのか。 (一般質問：桜井議員)	情報収集を継続し、必要に応じて、会議を開催するとともに、市として状況を見極めながら具体的な行動を含め、必要な対応を取る。	月 1 回程度の連絡会議を開催。 状況に応じて、要請活動など、道や関係団体と連携し、具体的な行動を取る。
6	協働のまちづくりを進めていく上で、今後の表彰制度の考え方を伺う。 (一般質問：高田議員)	多様なまちづくりへの参加を促すという観点から、今後、幅広い表彰等の取扱いについて、他市の状況等も参考にしながら、十分検討する。	12 月 他市の状況調査 平成 24 年 1 月以降 協働のまちづくりに関する表彰制度の検討に入る。
7	電算システムの更新時の議会対応に関する考え方を伺う。 (常任委員会：谷村委員)	今後、システム更新時に、常任委員会で事前に説明したい。	システム更新が必要な際に、事前に更新に当たっての市の考え方等を所管の常任委員会に説明することとする。

平成23年第4回市議会定例会における主な課題と対応

市民部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
新たな分別や資源化について	衣類等の資源化に向けては、収集方法や利用方法などを検討していく。 また、陶磁器類については、土への活用など、情報収集に努める。	衣類等は平成24年4月に収集に向けて取り組む。(拠点回収) また、陶磁器類については情報収集に努める。
乗合タクシーの実証運行について、茶志内・日東地域の実証を早める考え	スケジュールの見直しや国との調整なども必要なことから、地域公共交通活性化協議会において検討をお願いしていく。	1月中に地域公共交通活性化協議会に諮ることとする。
生ごみの収集方法、堆肥化設備、広域処理のごみ輸送体制	生ごみの収集方法については、市民が分別しやすい方法を考慮しながら検討していく。 設備については、設備を決定する前に農業関係団体等と協議し、出来るだけ早い時期に堆肥化手法等を決定していく。 ごみ輸送体制については、効率性やコストなどを比較検討していく	生ごみ堆肥化について、出来るだけ早期に各農協と協議を行う場を設ける。 同 左 同 左
現最終処分場完了後の計画方針	現在地の西側に用地は確保しているものの、整備手法や運営方法など今後検討していく。	
ごみ処理について	生ごみの堆肥化については、収集方法、堆肥化手法、市民負担などの課題もあることから、今後も引き続き市民の皆様から意見をいただく。	1月の20又は23にサンアール推進員を集め生ごみ堆肥化に関する話し合いを実施する。 また、年度内に衛生協力会連合会と協議する場を設ける。

平成 23 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

保健福祉部

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール
美唄市地域医療体制のあり方検討委員会における今後の方向性と市民の意見等の反映について	検討委員会において議論を重ね、市民の皆さんの声を反映できる機会を設けたうえで、本年度末に一定の方向性を見出す。	平成 24 年 2 月に第 2 回検討委員会を開催し、その後市民の意見等が反映できる機会を設け、検討委員会としての方向性を示す。
健康都市宣言について	誰もが健康で生きがいをもって、安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要であることから、様々な角度から実施に向けて検討する。	平成 24 年度中に「びばいヘルシーライフ 21」の次期計画策定を行うこととしており、この計画策定と連動させながら、健康都市宣言について取り組んでいきたい。

平成 23 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

商工交流部

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール
アンテナショップの事業 成果・課題・平成 24 年度 以降の運営について	○特産品の販路拡大、順調な 売り上げで地域経済の活性化 に一定の効果があったと考 えている。 ○アンテナショップの役割は 本市経済の活性化にとって必 要であると考えており、24 年 度以降の事業継続に向けて関 係団体との協議を進めている。	○収支シミュレーションを行 い、出店者協議会役員会 (12/13) で計画案が承認 され、出店者協議会全体会 議 (1/17 予定) で協議予 定。 ○事務局は市、運営主体は 出店者協議会、建物リース 料等は積立金を充当する計 画

平成 23 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

教 育 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
○ 幼稚園における集団フッ化物洗口について	■保育所、幼稚園で保護者の同意のもと、来年1月から実施する。	■市としての推進の方向性を明確にし、私立幼稚園、保育所に24年度からの実施を依頼し、小学校での取組につなげる。現在、小学校での導入課題や準備期間に関して関係者と検討中。
○ 学校トイレの洋式化の推進について	■今後計画的な改修に努めている。	■24年度予算で中央小学校、東小学校と中学校3校を、25年度で残りの小学校3校を改修することとしており、各学校洋式化率60%を目標に進めることとして計画しております。
○ 就学援助における追加3項目支給への考え方	■今後他市の動向や財政状況を踏まえ給付に向けて検討していく。	■国の給付項目や基準を維持し、必要な人に定められた給付を行う考え方で事業を行ってきたところであり、国で追加した3項目（PTA会費、児童・生徒会費、クラブ活動費）に関しても24年度予算に計上し対応したいと考えている。
○ 給食食材の放射性物質の測定について	■今後他市の情報など把握して、研究していく。	■現在、札幌市、倶知安町、帯広市が取組を表明しており、その状況を調査、把握し、対策を検討する。